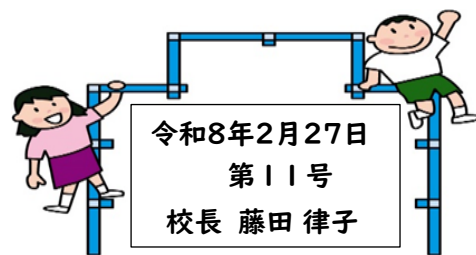
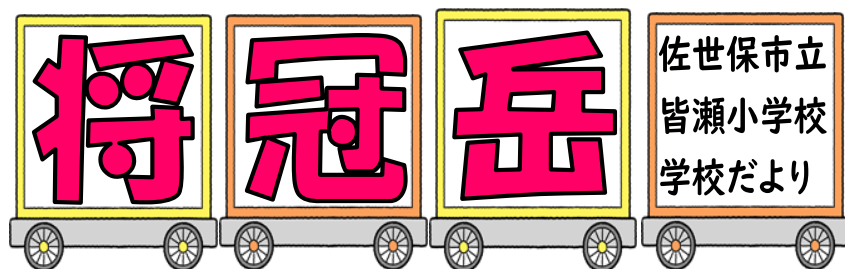


①からだを鍛え知を磨き ②いつも誰にでも思いやりを持ち ③ぜんりよくで努力し伸びていく子供の育成



校旗継承式・6年生を送る会



2月27日(金)に行われた「校旗継承式」では、厳かな雰囲気の中、これまで皆瀬小を引っ張ってきた6年生から5年生へと、伝統ある校旗が引き継がれました。校旗を受け取る5年生の表情から、新しくリーダーとなる誇らしさと引き受けた責任感が伝わってきました。また、校旗継承を見守る1年生から4年生の立派な態度にも、一つずつ学年が上がる自覚が感じられました。



そのあとの「送る会」では、各学年から趣向を凝らした出し物が披露されました。6年生への思いのこもった温かい会になりました。



新しい「学校教育目標」をつくりました

現在の学校教育目標は、「からだを鍛え知を磨き、いつも誰にでも思いやりを持ち、ぜんりよくで努力する子どもの育成」で、「かいぜ」の頭文字に、知・徳・体がすべて盛り込まれた立派な目標です。ただ、すべてが入っているので、逆に何を指すのかがわかりにくい。学校で一番大切な目標だから、自分たちがどんな子どもを育てようとしているのか明確に示したものがよいと考え、学校教育目標を全教職員で作り直すことにしました。

そのための話し合いでは、まず、皆瀬小学校の子どもたちの課題を挙げ、この子どもたちが、予測不能な未来社会で幸せに生きていくために、どんな力を育てなくてはいけなさを考えました。話し合いを重ねてできあがったのが、この学校教育目標です。

確かな学びと関わりを通して

自分も相手も大切にし 自ら伸びようとする児童の育成

この目標を達成するために、どんな取り組みを行っていくかをまとめたグランドデザインを作成しています。2月20日に行われた学校支援会議で、このグランドデザインについて説明させていただきました。地域の方々からは、「児童の課題から目標を考えているのはいい。」と評価していただきました。これからさらに細部を吟味して、令和8年度のスタートにグランドデザインを発表します。

折しも、2月26日(木)に行われたPTAの評議員会で、会則の改正案が提案されました。PTAも変わろうとしています。皆で熱く議論しながら、皆瀬小学校をより良い方向に変えていきたいと考えています。皆様からのご意見をお待ちしています。

3月の予定

2日(月)～6日(金)特別日課
4日(水)学校保健委員会
6日(金)SC本山先生来校日
8日(日)中里皆瀬自治協まつり
9日(月)長崎平和学習(5年)
11日(水)卒業式総練習
13日(金)中学校卒業式

15日(日)家庭の日
17日(火)大掃除・式場設営
18日(水)卒業証書授与式
19日(木)特別日課
20日(金)春分の日
23日(月)特別日課、大掃除
24日(火)修了式・離任式
〈令和8年度〉
4月7日(火)着任式・始業式

まどか教室って、どんなところ？

皆瀬小まどか教室は、通級指導教室で、市内19の小学校と連携し、現在12校から児童が通ってきています。まどか教室は、本来持っている力を十分に伸ばしきれない児童に対して適切な支援を行うことで、学校生活への適応を高め、力を伸ばすことを目標にしています。内容は、トランポリンなどの身体全体を動かす活動や、ルールを守ることを学ぶゲーム活動、担当の先生と1対1の個別学習などで、一人一人の状態や特性に合わせて指導目標を立てます。まどかの楽しい活動を通して自己肯定感を高め、子どもたちの笑顔が増えています。

自校にまどか教室があるのは皆瀬小学校の強みです。お子様のことで心配なことや子育ての悩みなどがありましたら、ぜひご相談ください。



「挨拶は愛情込めて大人から」

2月20日の学校支援会議では、やはり、子どもたちの挨拶の様子が話題になりました。地域の方々からの、「特に朝は、うつむきがちで、明るい挨拶ができない子が多い。」というお話を聞いて、「そうだよな。」と残念な気持ちになっていると、ある方が、「私は、子どもが挨拶をするかどうかは気にしていないですよ。私の方が、子どもたちに挨拶をしたいからしているんです。」と言ってくださって、ありがたいなと思いました。

朝の立哨の時、私も、挨拶は私からしようと思っています。目が合った子には、明るく元気の良い声で、うつむいて歩いてくる子には、優しい声で。ほとんどの子どもは挨拶を返してくれますが、視線が合わないまますれ違う子がたくさんいます。その度に残念な気持ちになりますが、「朝が辛いのかもしれないな。しんどいことがあったのに頑張って登校してきたのかも。」と思い直し、「今日も頑張って登校してくれてよかった」という気持ちを笑顔で伝えるようにしています。

ただ、挨拶ができないままでいいとは思っていません。挨拶は、人と人が関係を築くための第一歩。その子の未来の幸せを願うなら、明るい挨拶ができるように育てておきたいです。そのためには、挨拶ができていないと叱るばかりでなく、挨拶がどうして大切なのかや、挨拶すると気持ちがいいということ、粘り強く教えていかなければならないと思っています。

「挨拶は愛情込めて大人から」

